

来て 見て 触れて

むかし探検

No.9
～戦国時代の戦乱の中で～

室町時代は守護大名の力が強く、幕府の権威は畿内やその周辺にしかとどきません。15世紀になると、ますますその権威は失墜し、応仁の乱(1467年)を契機に日本各地で戦乱がおこり、戦国時代となります。

また、室町時代は茶の湯や生け花など、現代に伝わる文化が盛んになった時代でもあります。

私部城跡

私部城は、一時期は河内国の守護も務めた安見氏の居城として築かれた平城で、織田信長の活動を記録した書物「信長公記」に交野城として登場しますが、現在は私部城と呼ばれ親しまれています。

信長公記には信長方の軍勢となっていた私部城の安見氏が、敵対する三好氏の軍勢に取り囲まれ窮地に陥った際に、信長の軍勢が私部城へ救援に駆け付けたことが記されています。

城は、三つの郭の他に、周辺に砦や土塁の跡らしき高まりや、濠のように利用されていた可能性のある河川やくぼみが今も残されています。

私部城は郷土の大事な文化財であるとともに、

府内の数少ない平城の良好な保存例として、また戦国時代の歴史を知る上でも重要な文化財です。

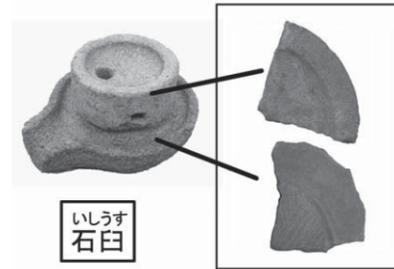
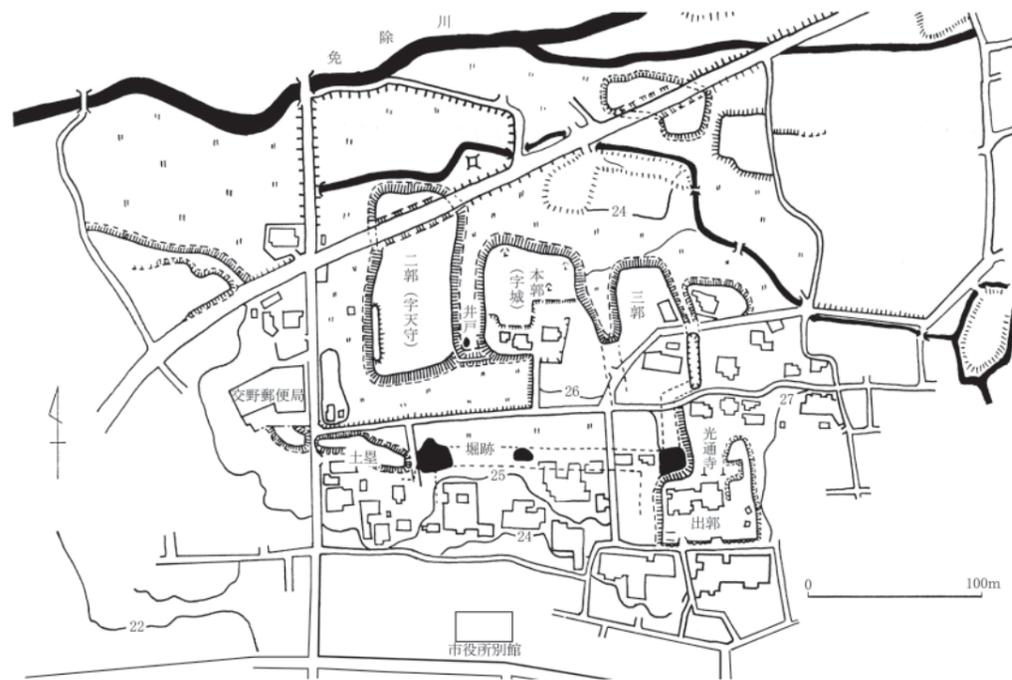
光通寺の威光

光通寺は、禅宗のお寺で、茶の湯が盛んなお寺でした。慶長9年(1604年)の「伝奏披露状女房奉書」によると、光通寺から朝廷へ、正月にお茶を献上するのが習慣となっていることが記されています。

戦国時代には、茶器のために命を落とす人もいられるほどお茶は重要なものだったので、朝廷へお茶を献上する光通寺の役割の大切さが分かります。

そんな光通寺を、私部城の安見氏が大きく荒らしたという記録が残されています。下図の通り、私部城と光通寺はすぐ近くにあり、光通寺の領域を私部城が取りこんでいったのです。

それを裏付けるものとして、私部城の発掘調査では、石造物や瓦など、お寺にあるものが捨てられた穴が見つっています。この穴の中からは、茶葉を抹茶にするための石臼が発見されており、茶の文化に通じていた光通寺の様子がうかがえます。



石臼の欠片(私部城跡の穴から)

なお、茶の文化に通じていた光通寺によるものか、廃城となった私部城跡では昭和の半ばごろまで茶葉が栽培されていました。

まれることはありませんでしたが、地層から大地震による被害の痕跡が見つっています。

その地震とは、豊臣秀吉の居城であった伏見城を倒壊させた慶長伏見地震(1596年)のことで、この地震によるものと考えられる液状化現象の痕跡(下写真)が残されています。液状化現象とは、地下の砂が液体化し、地上に噴き上がることです。



幸いなことに、近年の災害からは免れている交野ですが、有池遺跡の地震の痕跡から学び、災害に対する備えを考える必要があるでしょう。

室町～安土桃山時代を考古学してみよう

応仁の乱から始まる戦国時代の動乱期には、交野も戦乱に巻き込まれ、大地震も起こるなど、交野の歴史の中でも最も苦労の多かった時代です。

そんな戦乱の記憶を今に伝えているのが、私部城です。現在は徐々に開発が進んでいますが、平地に残る城跡としては、府内で随一の残り具合です。城跡の地形を詳しく観察すると、私部城がどのように築かれていったのかや、安見氏救出の際に信長軍がどのような布陣を敷いていたのかといった歴史の謎が見えてくるかもしれません。

戦乱を潜り抜けた仏像

戦国時代の戦火は交野各地に及んだようで、交野にあった仏像の多くも焼き捨てられてしまったと考えられています。

その中で、難を逃れた室町時代の仏像として、星田の薬師寺にある薬師如来立像や星田の有力者によって作られたとみられる千体仏があります。

私市にある廃千手寺には如意輪観音坐像(左写真)が残されています。寺の名前が「千手寺」というくらいなので、本来の本尊は千手観音であったのですが、いつの頃から戦乱で失われ、現在の如意輪観音を本尊としたのでしょう。



大地震の痕跡

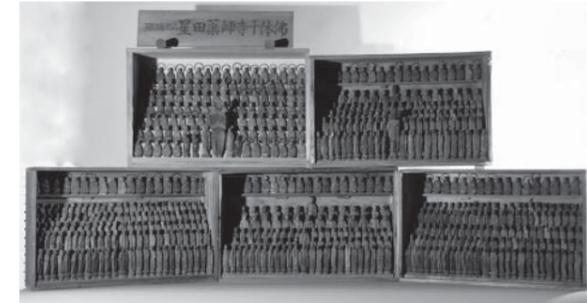
先月号で紹介した有池遺跡は、15世紀には集落が途絶え、その後現在に至るまで集落が再び営

歴史クイズ

問題

星田の薬師寺に現存している千体仏の数はいくつあるのでしょうか?

- ① 52体
- ② 671体
- ③ 3,000体



11月号 歴史クイズ答え

正解は、③でした。解説：鎌倉時代で大流行した帽子も、室町時代になると一般の人々の中での流行はおさまっていました。

歴史クイズの正解者の中から抽選で1名様に、「ジュニア文化財ガイドブック」をプレゼントします。当選者の発表はガイドブックの発送に替えさせていただきます。

応募方法 12月31日(土)までに①答え②名前③住所④電話番号⑤あれば感想・質問を書いて文化財事業団広報プレゼント係(〒576-0052 私部2-29-5 e-mail:bunkazai@city.katano.osaka.jp)

問い合わせ 文化財事業団(Tel.893・8111)

